

洞爺湖町建設協会 施設整備でボランティア活動

観光シーズンを向かえ、洞爺湖町建設協会（加藤恵蔵会長）が4月17日、西山火口散策路南口（元とうやこ幼稚園）で、杭の打ち直しやロープ補修のボランティア活動を行いました。

同協会の役員8人が、入り口から約300mにわたって杭80本を打ち直し、その杭に新しいロープを張りなおしました。

加藤会長は「観光客が安全にこの散策路を楽しんでもらいたい」と多くの人らが訪れるのを待ち望んでいました。



新しいロープを張り直す協会役員

5月9日～13日までの看護週間の最終日13日に、洞爺協会病院で春風コンサートが開かれ、ピアノやチェロの演奏で、入院患者の皆さんの心を癒しました。



手元の音色に聴き入る患者の皆さん

オープニングは、東日本大震災の被災者を想って、チェロ、ピアノ、バイオリンの3重奏による「アヴェ・マリア」の演奏。

続いてチェロのソロやピアノのソロによる「ノクターン」など、クラシックの名曲が奏でられ、最後に全員で元気に「ふるさと」を合唱しコンサートを終了しました。

洞爺協会病院で「春風コンサート」 クラシックの調べで入院患者癒す

まちのわだい



アングルを決める参加者

洞爺湖畔にある彫刻を写真撮影しながら洞爺湖を1周する「春のぐるっと

彫刻フォト・ツアー」（洞爺湖芸術館友の会主催）が、5月14日開かれました。

58基の彫刻を鑑賞しながら写真に収めようというバスツアーで、約10人が参加し、思い思いのアングルで彫刻に向かい合い、写真撮影を楽しみました。

中谷学芸員からは、各作品の説明だけでなく、作者にまつわるエピソードなどが語られ、参加者の興味をそそりました。

芸術館では、6月26日までこのフォト・ツアーで撮った写真を展示しています。

湖畔58基の彫刻を写真撮影 春のぐるっと彫刻フォト・ツアー

環境に果たす森林の役割を体感 「サミット記念の森」植樹行

5月15日、2011国際森林年記念「サミット記念の森」植樹のつどい（北海道、洞爺湖町主催）と洞爺湖町民植樹祭が、西山火口散策路南口にあるサミット記念の森で開催されました。

当日は、約150人が参加し、クリーンラーチやトドマツ、カラマツ、シラカンバ4種類800本を植樹しました。

「同記念の森」は、地球温暖化防止に果たす森林の役割を体感しようと平成21年に設定され、以降毎年植樹と草刈を



1本1本丁寧に植樹する参加者

行い、計画最終年となる今年度まで、3年で約1,600本の植樹をしてきました。